

自己有用感を高める学級活動(1)の工夫 -フィードバックカード「なかよしカード」の活用を通して-

特別研修員 特別活動 金井忠宏(小学校教諭)

課題

- ◎自ら課題を見出し、活動することが苦手
- ◎進んで話しかけたり、行動したりすることが苦手

失敗したくない

原因: 自己肯定感・自己有用感の低さ

手立て

そこで

○なかよしカードで

相互にプラスの評価をしあう。

- ・互いのよさを**3つの観点**で見つけ認める。
 <他者のよさを認める力の向上>
- ・学級通信や次時の導入で評価を**フィードバック**する。
 <自己肯定感・自己有用感の向上>

な : 「納得」

意見を出し合う場面で、誰が良い意見を出すことができたか。

か : 「改良」

意見を比べあう場面で、誰が折り合いをつけてまとめられたか。

よし : 「よさに気付く」

学級活動全体を通して、自分が気付いた仲間のよいところはどこか。それは誰か。

実践

互いのよさを**なかよしカード**で評価し合う。

本時

導入
話し合い
活動

な : Aさんのアイデアよかったなあ。

か : Bさんの発言のおかげで、意見がまとまったなあ。

よし : Cさんは司会を頑張っていたなあ。



| | 日 目 | |
|-----------------------|------|----|
| | グループ | 空席 |
| な っとく | 評価 | 評価 |
| か いりよう | 評価 | 評価 |
| よ さに 気付く | 評価 | 評価 |

※グループ、全体での話し合いの場面で互いのよさ見とる。

まとめ

なかよしカードの評価を学級通信で紹介。

朝の会等



・僕の名前がたくさん載っている。
(僕の意見が役に立ったんだ。)

・私が言った意見のことが書いてあるわ。
(私の頑張りを見てくれている人がいるんだ。)

次時

導入
話し合い
活動
:

前時の**なかよしカード**の評価を全体で共有。

・なかよしカードに「Dさんの黒板のまとめ方がわかりやすかった。」と、書いてありましたよ。確かに工夫されていてわかりやすかったですね。

・意見は言えなかったけれど、黒板書記を頑張ってたよ!

◎実践後の児童の変化

- ◎学級内の仕事に対して、**自分たちで考え、お互いに手助け**できる児童が増えた。
 - ◎**仲間と話し合い、意見を交換しながら協力してレクリエーションを運営**することができた。
- 他にも、毎日の日記に**仲間のよいところ**を書く児童や、**仲間の失敗に対して寛容に接せられる**児童が増えた。

◎成果

- ・認められていることを実感し、**自己有用感が向上**した。
- ・仲間のよさを見つける力が高まり、**学級の雰囲気**が向上した。
- ・仲間への安心感から、**失敗にへこたれずに発言**できる児童、**積極的に考えて行動**する児童が増えた。

◎課題

- ・より効果的に自己肯定感、有用感を高めるために、**なかよしカードで認められた児童の紹介の仕方**をさらに工夫する必要がある。